

株式会社アドウェイズ（東証マザーズ2489）  
2014年3月期第1四半期 決算説明会

2013年7月31日  
代表取締役社長 岡村陽久

# 目次

- 1 事業概況 ..... P.2
- 2 第1四半期の実績 ..... P.12
- 3 今後の取り組み ..... P.21
- 4 業績予想 ..... P.28
- 5 補足資料 ..... P.33

# 1 事業概況

# 1. 事業概況 ～提携等によるスマートフォン広告事業の強化

2012.3.26



株式会社ディー・エヌ・エーの「Mobage」と広告事業およびソーシャルゲーム事業において戦略的提携

株式会社ディー・エヌ・エーの「Mobage」と広告事業およびソーシャルゲーム事業において戦略的提携

2013.7.4



日本最大級SNS「GREE」で、リワード広告サービス「AppDriver offerwall」を提供開始

2013.4.9



アドウェイズ・インタラクティブ、Facebook®認定パートナー“Mobile Measurement Partners”に認定

2013.7.31



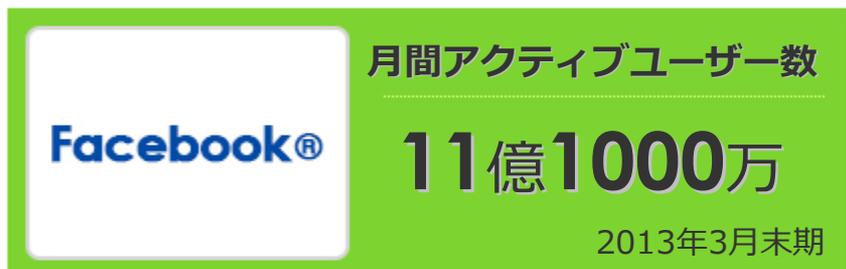
アドウェイズ、Twitter社と代理店契約を締結、「Twitter プロモ広告」の販売を開始

2013.7.10



アドウェイズ、無料メールスマホアプリ「LINE」と代理店契約を締結  
～「LINE フリーコイン」の販売を開始～

# 1. 事業概況 ～各ソーシャルメディア規模



合計 約 **16億**

# 1. 事業概況 ~アドウェイズは



# 1. 事業概況 ～LINE

無料通話・無料メールアプリ「LINE」と代理店契約を締結  
～「LINE フリーコイン」の販売を開始～



今回の提携により、「AppDriver」に広告出稿を行うアプリデベロッパーが「LINEフリーコイン」へ出稿可能に。  
また今後は、全世界対応のスマートフォンアプリ向け効果測定システム「PartyTrack」との連携も視野に入れ、スマートフォン市場において拡大を目指す。

# 1. 事業概況 ~LINE



# 1. 事業概況 ～Twitter

Twitter社と代理店契約を締結  
～「Twitterプロモ広告」の販売を開始～



「Twitterプロモ広告」は、世界中に月間2億人を超えるアクティブユーザーを保有するサービス「Twitter」に広告が掲載されるプロモーションサービスです。リアルタイムで発信されるユーザーのツイートに含まれるキーワードやTwitterのアカウント情報など、様々なターゲティングが可能であり、広告主に対して、広告の対象ユーザーにアプローチする効果のあるプロモーションの提案を行うことができます。

# 1. 事業概況 ～Facebook®

米国子会社がFacebook®の認定パートナーに  
～全世界対応のスマートフォン向け効果測定システム「PartyTrack」の提供～



革新的な広告一元管理を実現。

- ・ 全世界対応
- ・ 1SDKで効果測定
- ・ 広告運用の最適化
- ・ 「AppDriver」と連携



# 1. 事業概況 ~GREE

日本最大級SNS「GREE」で、リワード広告サービス「AppDriver offerwall」を提供開始



「AppDriver offerwall」の提供開始により、提携メディアの強化につながり、当社の広告主に対する幅広い広告提案が可能となります。



# 1. 事業概況 ～今後のネットワーク

ネットワークの強化を目指し、  
広告主の更なる獲得を図る



## 2 第1四半期の業績

## 2. 第1四半期の業績

### 【四半期】 当四半期の業績と前四半期比較・前年同四半期

(単位：百万円)

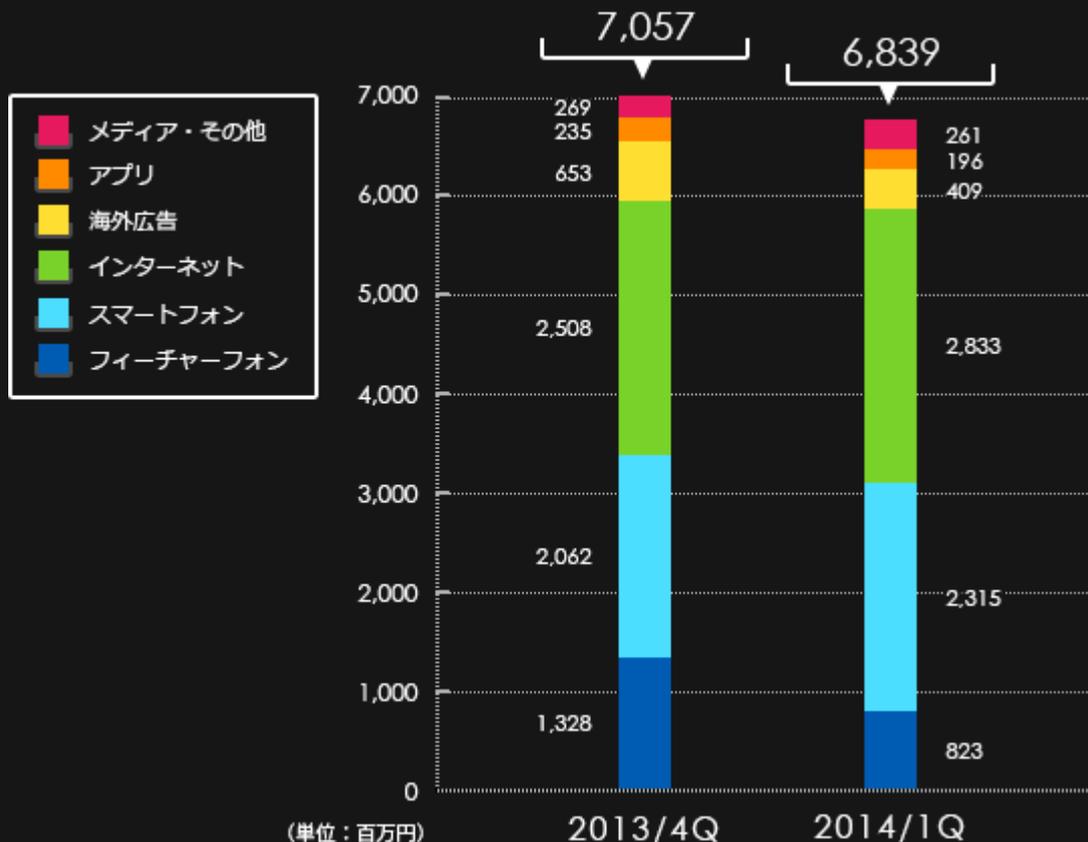
	2014年3月期 第1四半期	前四半期比 2013年3月期第4四半期			前年同四半期比 2013年3月期第1四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	6,839	7,057	▲218	▲3.1%	4,476	+2,362	+52.8%
売上総利益	1,182	1,289	▲107	▲8.3%	842	+339	+40.4%
販管費	1,143	1,133	+9	+0.9%	793	+349	+44.1%
営業利益	39	156	▲117	▲74.9%	49	▲9	▲19.9%
経常利益	▲8	116	▲125	▲107.5%	84	▲93	▲110.2%
四半期 純利益	▲18	29	▲47	▲162.2%	20	▲38	▲190.7%

売上高  
前四半期比2億18百万円の減少 (3.1%減)

営業利益  
前四半期比1億17百万円の減少 (74.9%減)

## 2. 第1四半期の業績 ～売上高

### 売上高の前四半期との比較



- 国内広告事業は59億71百万円。前四半期比で73百万円の増加。
  - インターネットが3億24百万円の増加。
  - スマートフォンが2億53百万円の増加。
  - フィーチャーフォンが5億4百万円の減少。

- アプリ事業は1億96百万円。前四半期比で38百万円の減少。

- 海外広告事業は、4億9百万円。前四半期比で2億44百万円の減少。

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2014年3月期第1四半期の連結決算対象期間は1月～3月となります。

## 2. 第1四半期の業績 ～売上高

### セグメント前四半期比

#### 国内広告事業 … 前四半期比1.2%増

- ー インターネット（前四半期比13.0%増）
- ー スマートフォン（前四半期比12.3%増）
- ー フィーチャーフォン（前四半期比38.0%減）

#### アプリ事業 …… 前四半期比16.3%減

#### 海外事業 …… 前四半期比37.4%減

### 概況

スマートフォンへの注力施策により、スマートフォン及びインターネット売上高が順調に増加。それらの施策及び市場の縮小により、フィーチャーフォンが減少

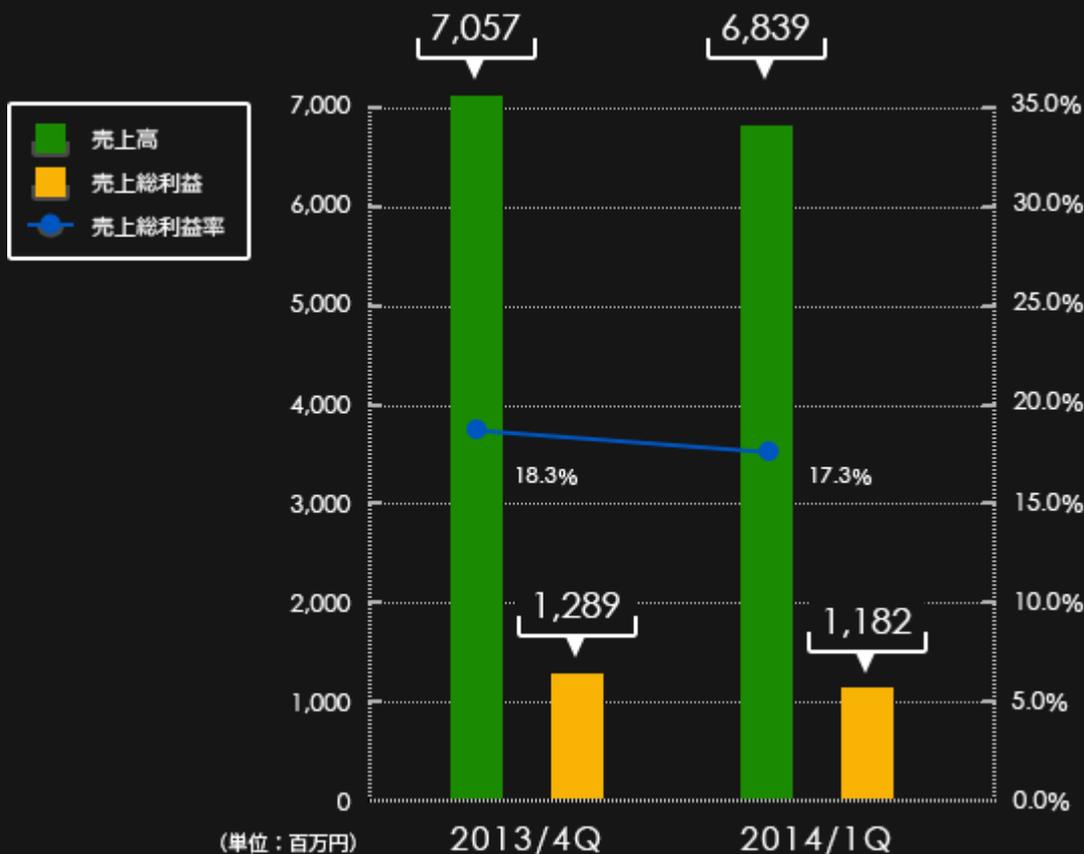
当四半期はヒット作に恵まれず、売上高が減少。既存のアプリによる収益継続が続く。

季節要因（春節等）により、売上高が減少。

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2014年3月期第1四半期の連結決算対象期間は1月～3月となります。

## 2. 第1四半期の業績 ～売上総利益

### 売上総利益の前四半期との比較



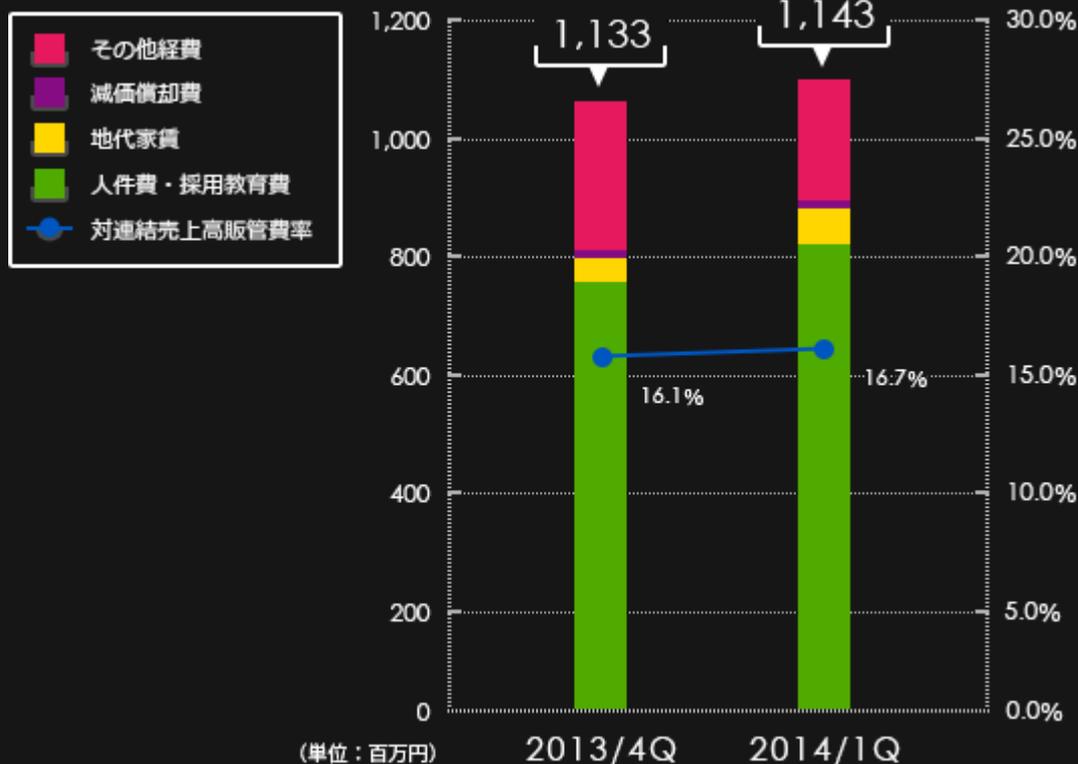
当四半期の売上総利益は、11億82百万円。前四半期比で1億7百万円の減少（8.3%減）。売上総利益率は1.0%の減少。

－ 売上高の減少に伴い、売上総利益が減少。

優良取引先の囲い込みを行ったことによる原価率の微増が売上総利益率の減少要因。

## 2. 第1四半期の業績 ～販管費

### 販管費の前四半期との比較



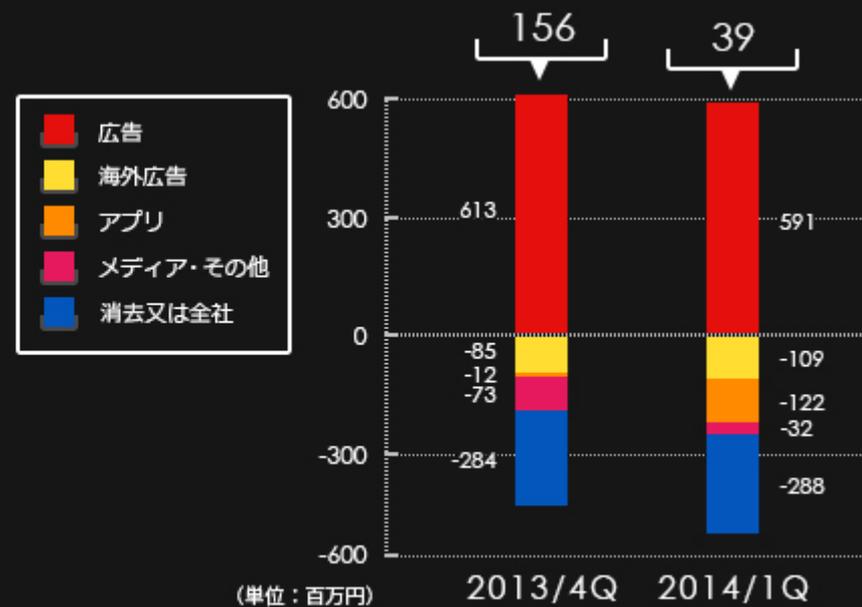
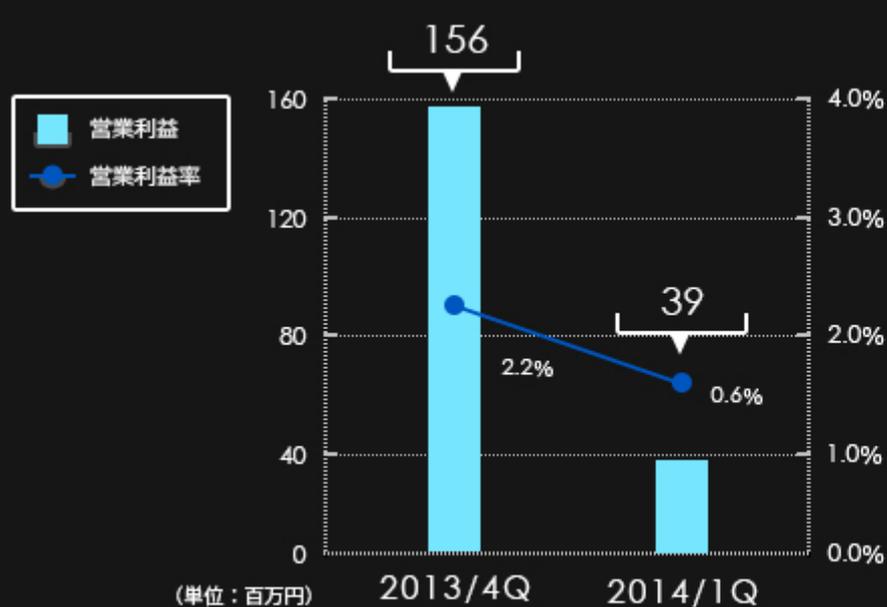
当四半期の販売管理費は11億43百万円。  
前四半期比で9百万円の増加（0.9%増）。

販管費率は0.6%の増加

- － 新卒採用により人件費が61百万円増加。
- － その他の販管費が費用の見直しにより、51百万円減少。

## 2. 第1四半期の業績 ～営業利益

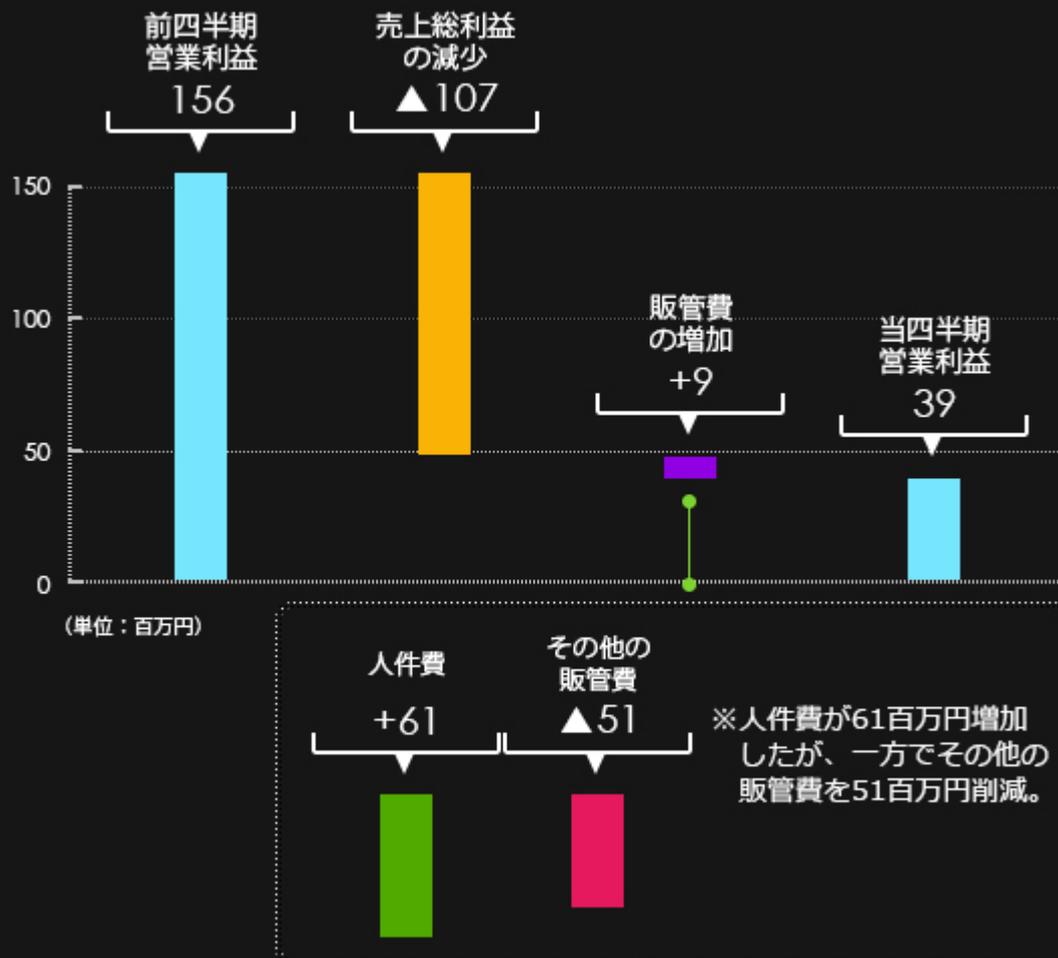
### 営業利益の前四半期との比較



当四半期の営業利益は39百万円。  
前四半期比で1億17百万円の減少（74.9%減）。  
営業利益率は1.6%の減少

広告事業は5億91百万円。前四半期比で21百万円の減少。  
海外事業は▲1億9百万円。前四半期比で23百万円の減少。  
アプリ事業は▲1億22百万円。前四半期比で1億9百万円の減少。

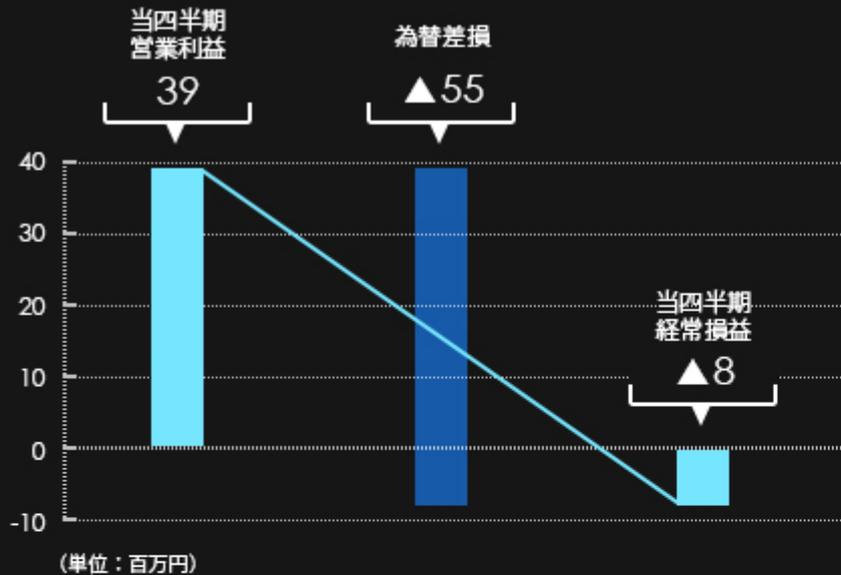
## 2. 第1四半期の業績 ～営業利益



当四半期の営業利益は、  
前四半期比で1億17百万円の減少。

主な減少要因は、  
- 売上総利益の1億7百万円の減少。  
- 販管費の9百万の増加。

## 2. 第1四半期の業績 ～ 経常損益・四半期純損益



当四半期の経常損益は、▲8百万円  
前四半期比で1億25百万円の減少。

営業外収益10百万円  
営業外費用58百万円  
主な要因は、

- ・ 為替差損による55百万円の営業外費用

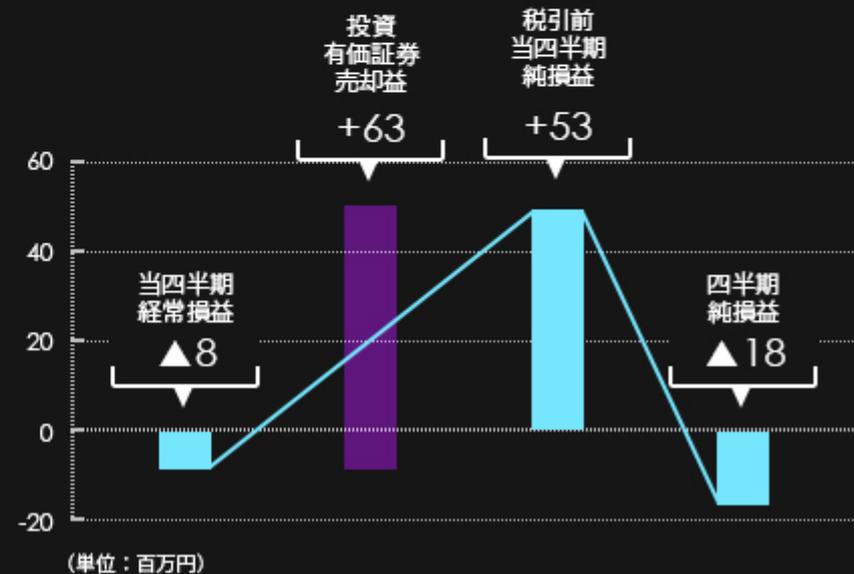
→ 今後は事前の通貨保有や支払いサイトの調整等で  
為替リスクへ対応。

当四半期の純損益は、▲18百万円  
前四半期比で47百万円の減少。

特別利益63百万円  
特別損失0.6百万円

主な要因は、

- ・ 投資有価証券売却益による63百万円の特別利益



# 3 今後の取り組み

### 3. 今後の取り組み

投資



事業化



収益化

投資フェーズ  
種をまく

成長フェーズ  
芽を出す

収益フェーズ  
花が咲く

### 3. 今後の取り組み ～広告事業

国内スマートフォン広告事業を、さらに拡大



# 3. 今後の取り組み ～海外事業

拡大中の東アジア拠点を  
更に拡げる

 2013/4/2

韓国最大級のアドネットワーク  
「Cauly」と戦略的パートナ  
ーシップ提携

 2013/4/12

韓国最大級のリワード広告ネット  
ワーク「TnK Ad Platform」と戦  
略的パートナーシップ提携

 2013/6/26

韓国最大級のリワードアプリ  
「Cash Slide」と戦略的パート  
ナーシップ提携

 2013/4/18

台湾最大手のPCリワードネット  
ワークを保有するOfferme2と業  
務提携

 2013/5/9

中国最大級のモバイル広告ネット  
ワーク「YouMi Mobile (ヨウミ  
モバイル)」と業務提携

 2013/5/16

中国最大級のモバイル広告ネット  
ワーク「指効効果營銷平台  
(Zhixiao Affiliate Platform)」  
と業務提携

 2013/5/27

ソニー・デジタル社と業務提携  
～中国向けアプリ「経期小護士」  
の中国における広告代理パート  
ナーへ～



### 3. 今後の取り組み ～海外事業

## スマートフォン広告事業でアジアNo,1へ

2013年末までに子会社化予定  
インド市場での  
事業拡大を図る

各拠点とのネットワーク連携により、  
東南アジア拠点の早期収益化を図る

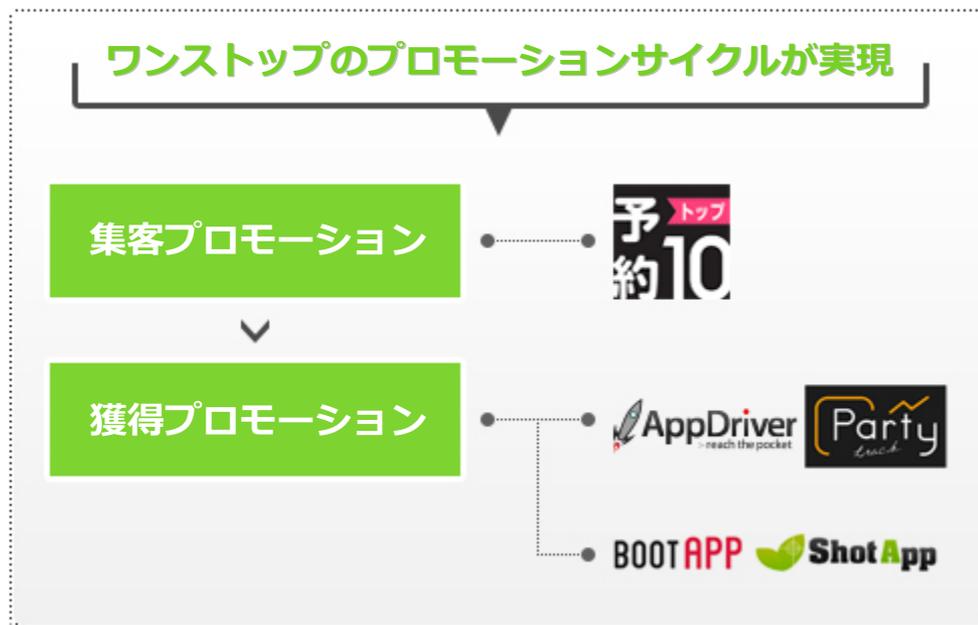


### 3. 今後の取り組み ～新規事業

新サービスのリリースで既存広告事業の収益向上を



リリース前の新作アプリの事前予約ができる  
「無料で新作アプリが予約できる-予約トップ  
10-」をAndroidアプリ及びWEBサイトにて  
サービス提供開始



その他、約**50**事業を準備中

# 3. 今後の取り組み

## 収益化へ向かうために

### advertising

国内広告事業はスマートフォンを中心に、引き続き拡大を目指す。

### overseas

海外広告事業はアジアの各拠点の基盤を築き、アジア全般に渡る広告ネットワークを構築する。

### a new service

新規事業は、今後リリースしていく新サービスを一つでも多く事業化する。

# 4 通期業績予想

# 4. 通期業績予想

2014年3月期連結業績予想数値（2013年4月1日～2014年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期予想	28,500	450	400	240
第1四半期実績	6,839	39	▲8	▲18
進捗率※	24.0%	8.7%	—	—
（参考） 2013年3月期実績	22,639	413	429	304

※小数点第2位を切捨て

# 4. 通期業績予想

## 株式分割・単元株制度

1. 2013年9月30日（基準日）をもって、最終の株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき、500株の割合をもって分割いたします。

（単位：株）

株式分割前の 発行済株式総数	今回の分割より 増加する株式数	株式分割後の 発行済株式総数	株式分割後の 発行可能株式総数
<b>80,915</b>	<b>40,376,585</b>	<b>40,457,500</b>	<b>153,150,000</b>

（注）上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

2. 2013年10月1日をもって、単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたします。

# 本日はありがとうございました

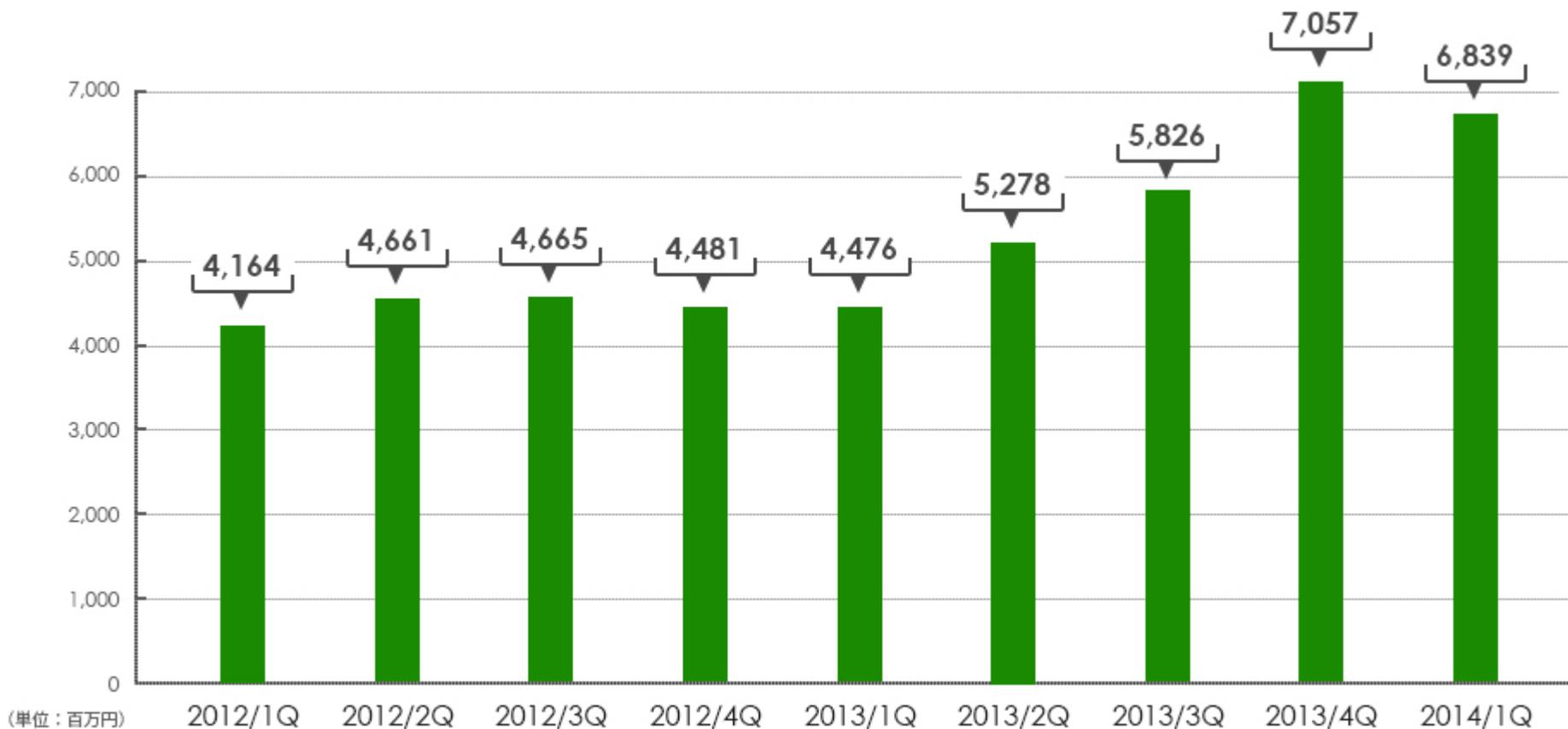
本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくははいまだに知られていないリスク、不確かさその他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2013年7月31日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

# 5 補足資料

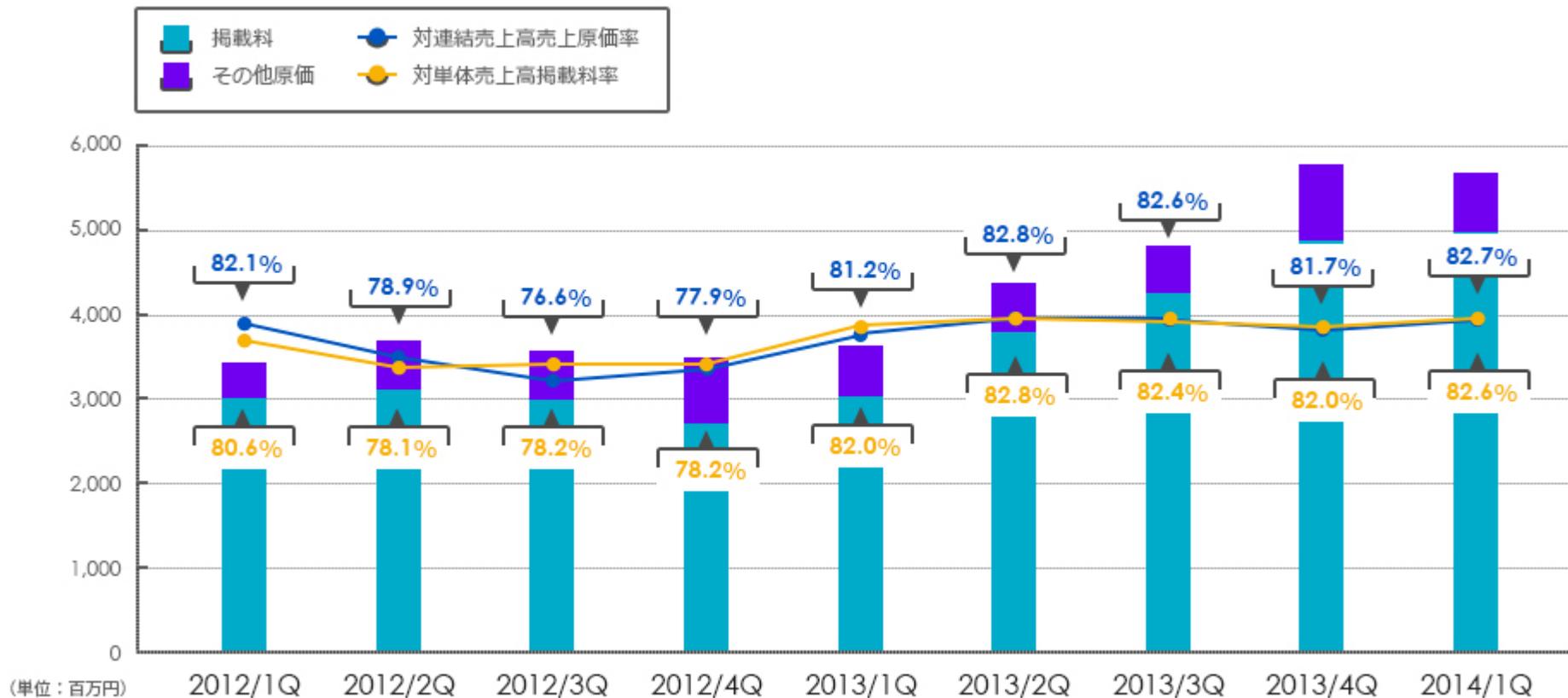
# 5. 補足資料

## 連結売上高 四半期推移



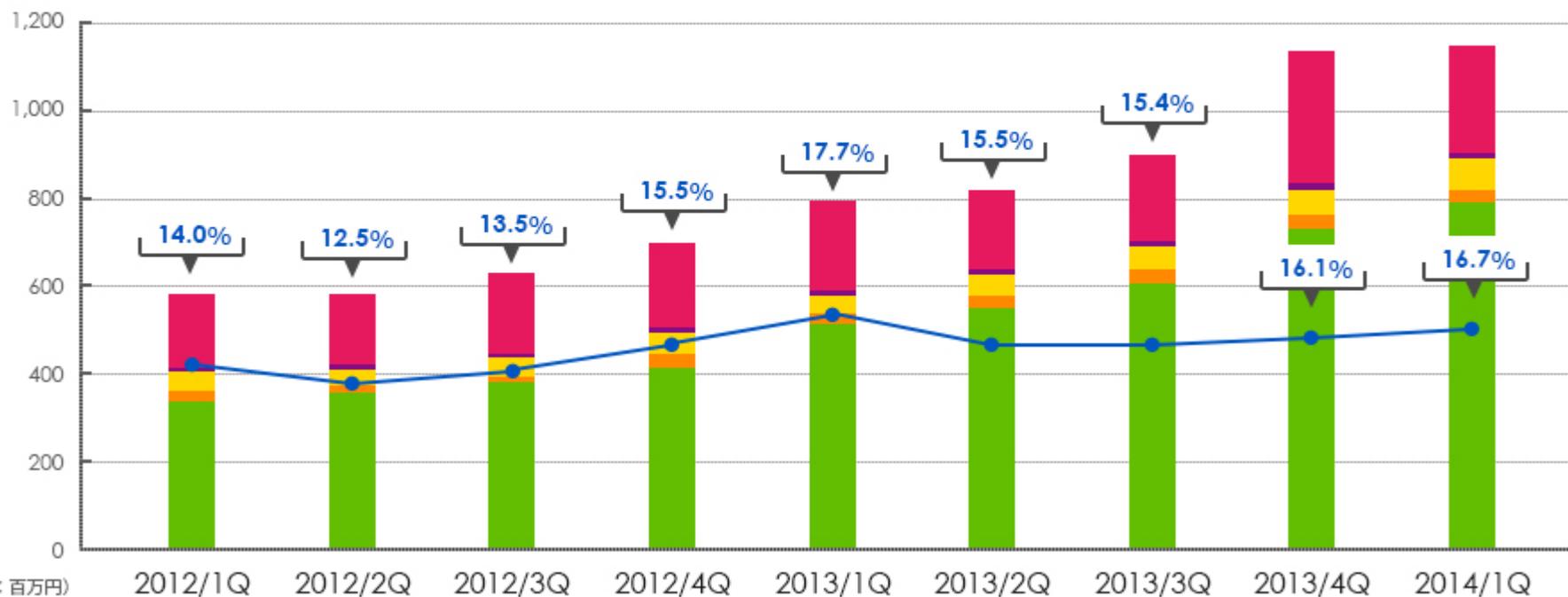
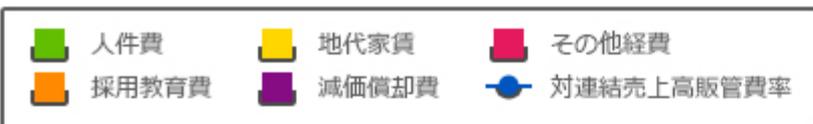
# 5. 補足資料

## 連結売上原価 四半期推移



# 5. 補足資料

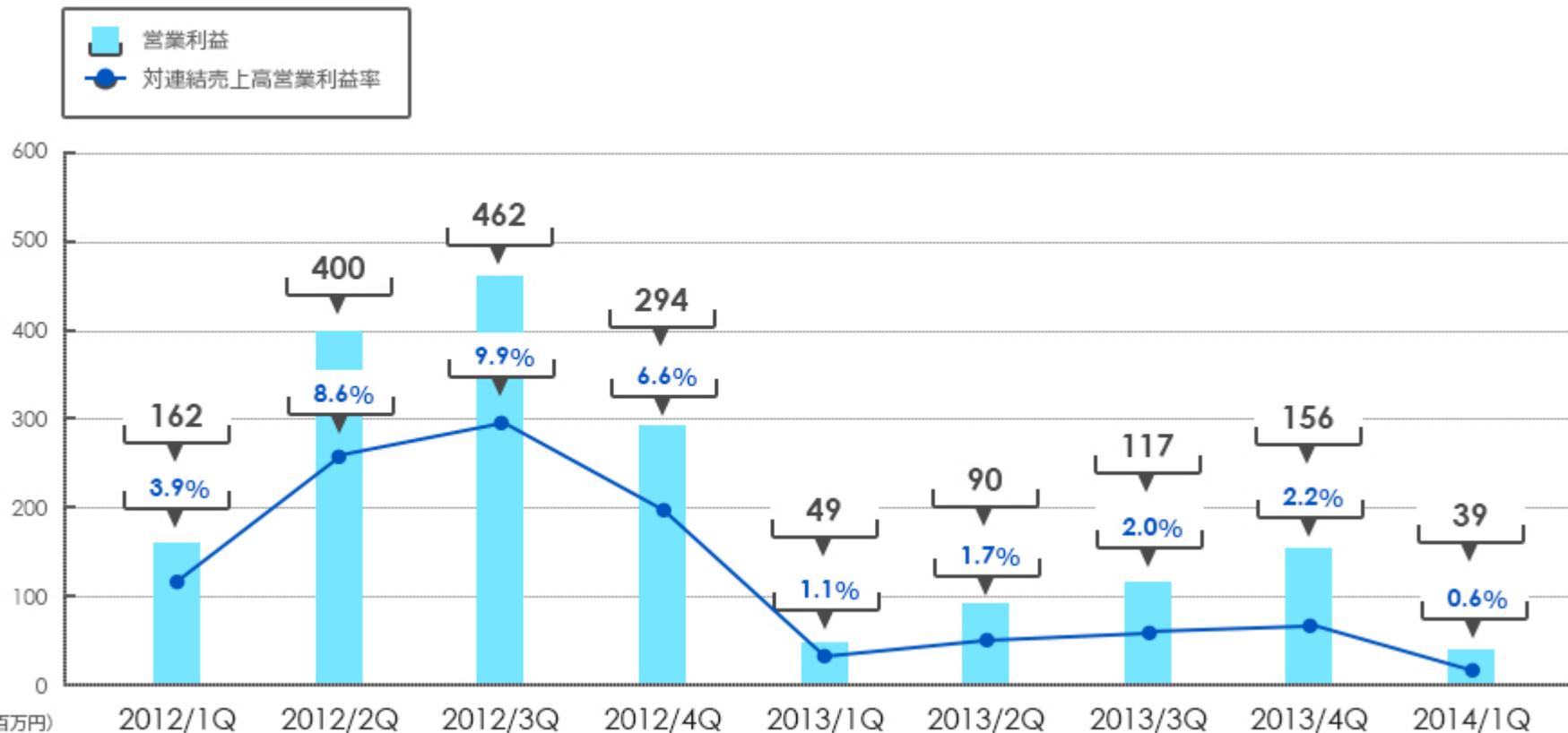
## 連結販管費 四半期推移



(単位：百万円)

# 5. 補足資料

## 連結營業利益 四半期推移



# 5. 補足資料

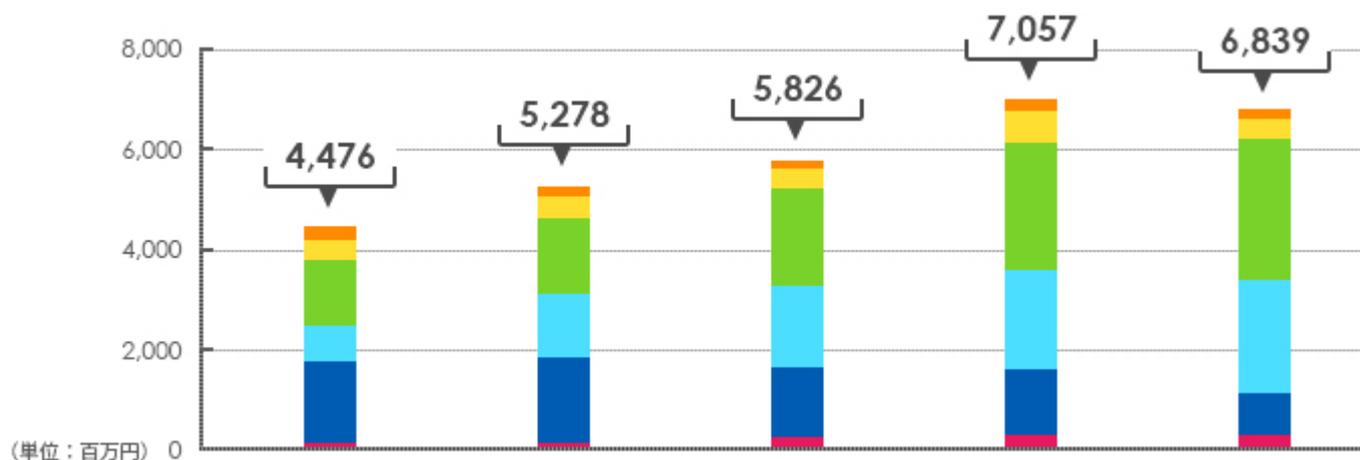
## 連結貸借対照表（前四半期比）

（単位：百万円）

	2014年3月期1Q	2013年3月期4Q	増減額	増減率
流動資産	7,680	7,809	▲129	▲1.7%
（現預金）	3,912	3,982	▲69	▲1.7%
固定資産	1,282	1,215	+66	+5.5%
総資産合計	8,962	9,024	▲62	▲0.7%
流動負債	3,974	4,137	▲162	▲3.9%
（1年以内返済予定 長期借入金）	-	-	-	-
固定負債	50	43	+7	+17.4%
負債合計	4,025	4,180	▲155	▲3.7%
純資産合計	4,936	4,843	+92	+1.9%

# 5. 補足資料

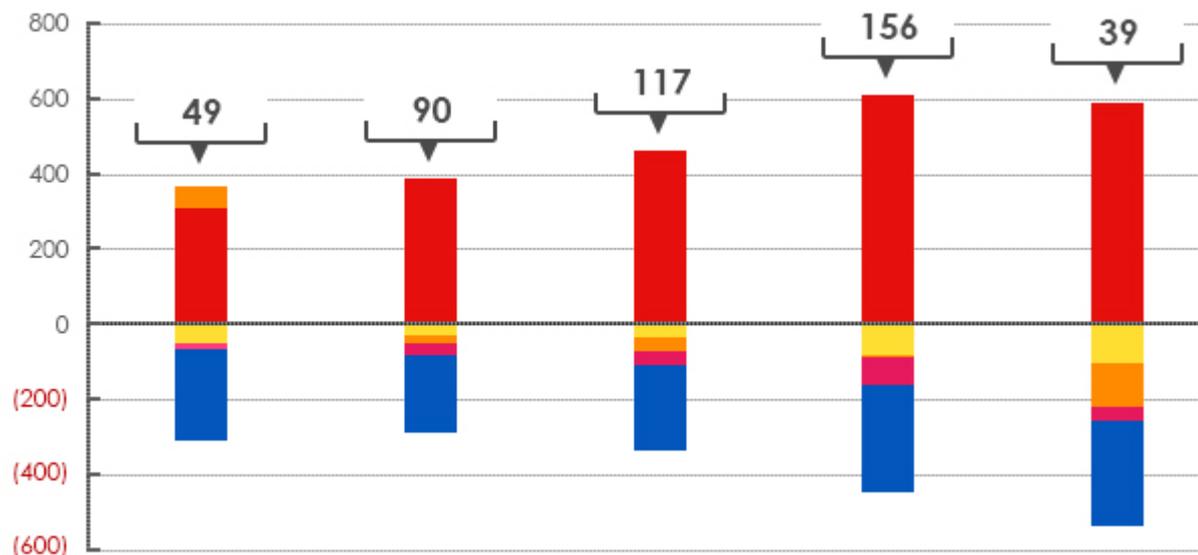
## セグメント内別連結売上高構成比四半期推移



	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	前四半期比	
						増減額	増減率
フィーチャーフォン	1,647	1,694	1,384	1,328	823	▲504	▲38.0%
スマートフォン	719	1,279	1,659	2,062	2,315	+253	+12.3%
インターネット	1,234	1,562	1,957	2,508	2,833	+324	+13.0%
海外広告	382	430	424	653	409	▲244	▲37.4%
アプリ	300	185	168	235	196	▲38	▲16.3%
メディアその他	191	126	231	269	261	▲8	▲3.2%
<b>合計</b>	<b>4,476</b>	<b>5,278</b>	<b>5,826</b>	<b>7,057</b>	<b>6,839</b>	<b>▲218</b>	<b>▲3.1%</b>

# 5. 補足資料

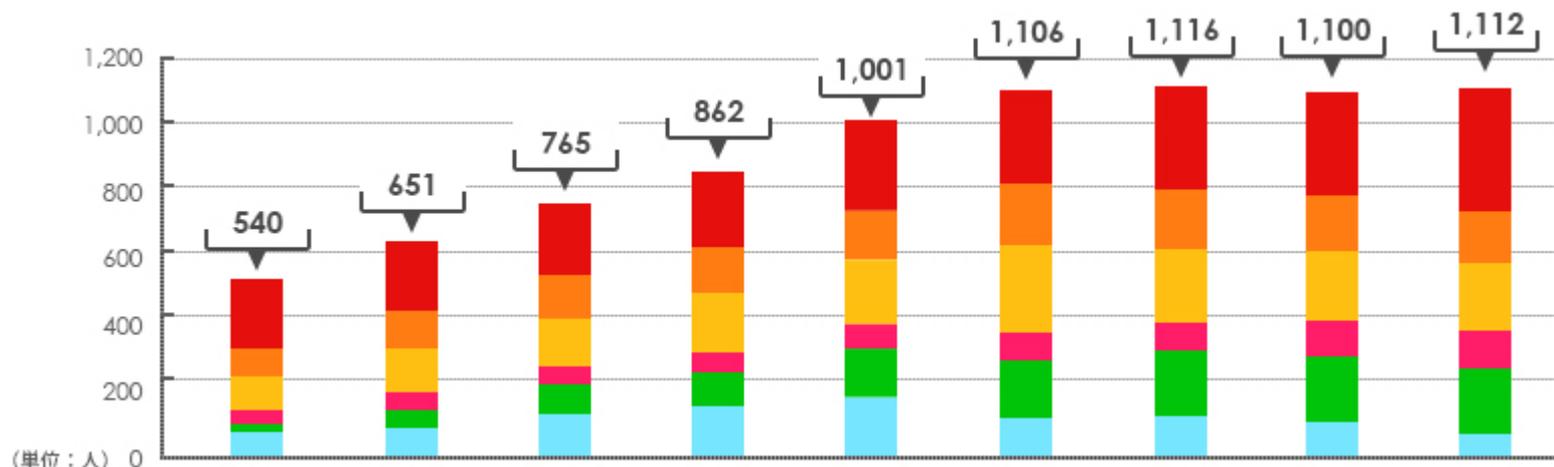
## セグメント内識別連結営業利益構成比四半期推移



	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ 広告	303	386	465	613	591	▲21	▲3.5%
■ 海外広告	▲59	▲34	▲38	▲85	▲109	▲23	—
■ アプリ	63	▲25	▲42	▲12	▲122	▲109	—
■ メディアその他	▲13	▲31	▲31	▲73	▲32	+41	—
■ 消去又は全社	▲244	▲204	▲235	▲284	▲288	▲3	—
■ 合計	49	90	117	156	39	▲117	▲74.9%

# 5. 補足資料

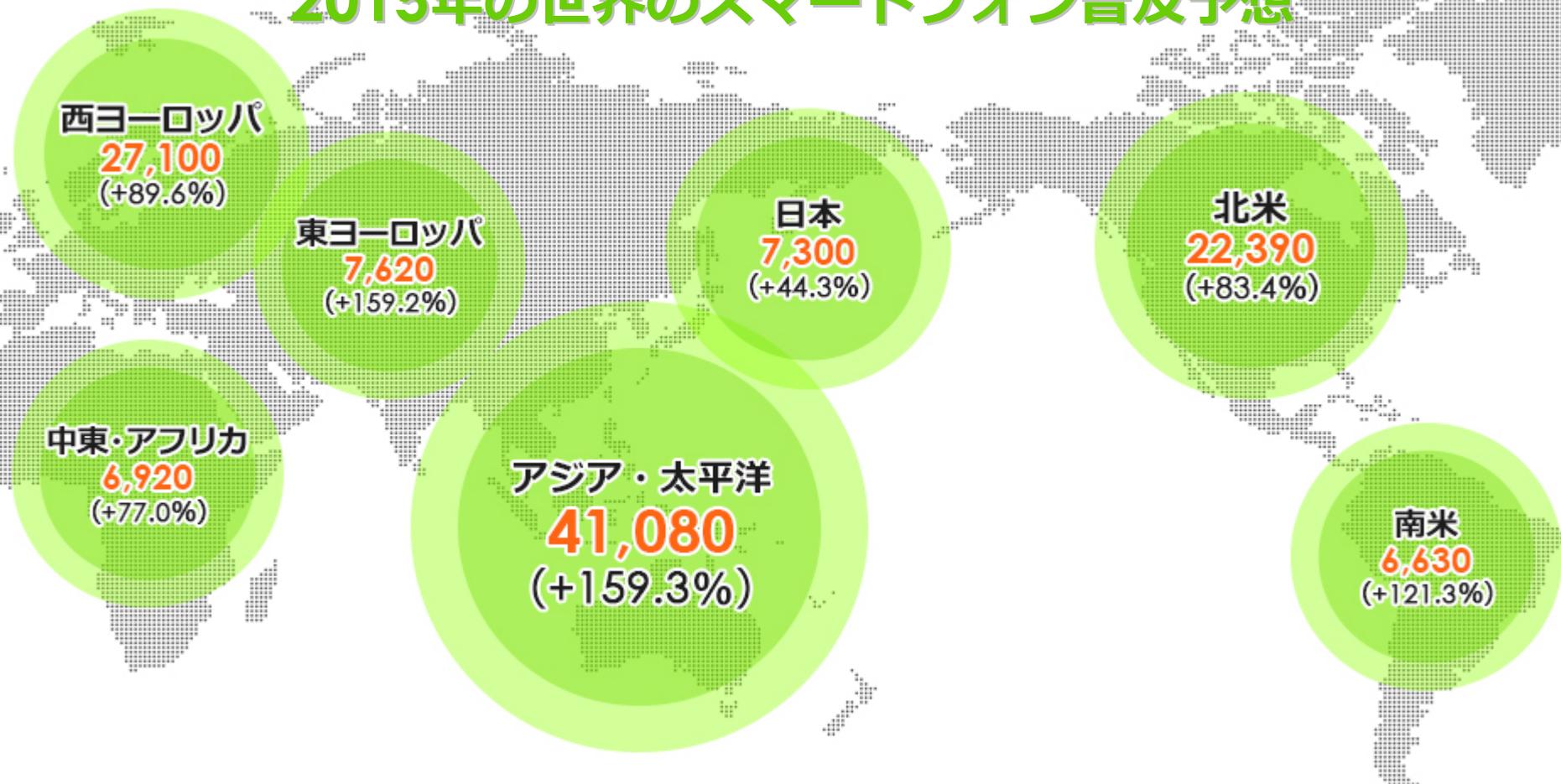
## 当社グループの従業員数 四半期推移



	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q
日本アドウェイズ	207	208	213	231	272	282	305	309	368
中国アドウェイズ	89	115	133	138	142	185	181	169	154
中国開発センター	96	131	139	174	189	256	219	210	206
国内子会社	40	51	56	56	70	88	89	102	111
海外子会社 (中国以外)	24	52	84	100	149	171	190	195	192
派遣/アルバイト等	84	94	140	163	179	124	132	115	81
<b>合計</b>	<b>540</b>	<b>651</b>	<b>765</b>	<b>862</b>	<b>1,001</b>	<b>1,106</b>	<b>1,116</b>	<b>1,100</b>	<b>1,112</b>

# 5. 補足資料

## 2015年の世界のスマートフォン普及予想



出典：eMarketer ※増減率は2011年比

(単位：万件)

# 5. 補足資料

## 会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）
設立年月日	2001年2月28日
事業概要	インターネット関連事業
代表者氏名	岡村 陽久
資本金	1,479百万円 [2013年6月末日現在]
売上高	22,639百万円 [2013年3月期連結]
従業員数	1,112名（臨時雇用者含む） [2013年6月末日現在]